

2026年3月11日
 南海電気鉄道株式会社

移住先としての南海沿線の認知向上と魅力発信を目的に、
『南大阪・和歌山 南海沿線のくらし読本』を発行します

- ◆沿線への移住者3組と沿線で暮らす・働く30人のリアルな声を収録
- ◆生活に密着した沿線の定番スポット50箇所や沿線20自治体の基本情報を網羅
- ◆移住におすすめの沿線の駅や自治体を診断する「移住診断サービス」も提供

南海電気鉄道株式会社(社長:岡嶋 信行、以下「南海電鉄」)は、南大阪・和歌山エリアを移住先として検討されている方々に向けて、地域の魅力と実際の暮らしを多面的に紹介するガイドブック『南大阪・和歌山 南海沿線のくらし読本』を発行します。

本冊子では、同エリアの魅力を「画一的なイメージ」ではなく、「実感や体験に基づくリアルな魅力」として伝えることを重視。沿線への移住者3組と、沿線地域に根ざして活躍する30人の方々へのインタビューを中心に、沿線での暮らしの価値を多面的に捉えています。さらに、公園・道の駅といった生活に密着したスポットをまとめた『南大阪・和歌山を知る50のこと』や、「距離感ゼロの泉州弁」など地域の個性をユーモラスに切り取った『南大阪・和歌山あるある図鑑』では、読み物としても楽しめる構成としました。

本冊子は B5判96ページで制作し、当社「なんかいくらし」公式 LINE を「友だち追加」のうえ、アンケートに回答いただいた方先着500名様へ進呈します。申し込みの受付は3月16日11時からです。

加えて、当社「なんかいくらし」公式 LINE上で提供中の「移住診断サービス」を活用いただくことで、一人ひとりの生活スタイルや価値観に応じた、おすすめの南海沿線の駅および自治体を診断できます。



表紙(左)裏表紙(右): 移住検討者が抱く「なぜ南海沿線に移住したのか」という疑問・不安“?”が解決し!“!”に変わる瞬間をデザインコンセプトとして採用。「新しい暮らしのヒントに会える一冊」であることを表現。



『南大阪・和歌山あるある図鑑』



沿線で暮らす・働く30人のリアルな声を収録



生活に密着した沿線の定番スポット50箇所を紹介

【『南大阪・和歌山 南海沿線のくらし読本』について】

1. 書名 『南大阪・和歌山 南海沿線のくらし読本』(非売品)
 2. 仕様 B5判・96ページ
 3. 内容 沿線に移り住んだ人たちの物語。／南大阪・和歌山ってどんなところ？／30人に聞いた、南大阪・和歌山の好きなおところ。／南大阪・和歌山を知る50のこと／南大阪・和歌山 あるある図鑑 沿線20自治体 データベース
- 【主なインタビュー協力者】**
- ・「BREMENS 旅と暮らしの雑貨店(和泉市)」の川村 達哉さん、紀子さん
 - ・「coron ねこと暮らし(泉大津市)」店主の山本 真由珠さん
 - ・「De Sakai(堺市)」のエリック・シュヴァリエさん
 - ・「doorman store(大阪市住之江区)」の成山 明宏さん
 - ・「俳優(大阪狭山市出身)」の伊原 六花さん 他
4. 発行日 2026年3月16日(月)11時～申し込み受付開始
 5. 入手方法 「なんかいくらし」公式 LINE「友だち追加」
＋アンケート回答いただいた先着500名様に無料送付
※基本的にお申込みから3～4週間以内に発送いたします。お届けには、配送の都合により前後する場合がございます。なお、発送をもってご連絡に代えさせていただきます。
※詳細はこちら：<https://kosodate.nankai-ensenkachi.com/dokuhon/>

【移住診断サービスについて】

「移住診断サービス」は、南海沿線への移住を検討する方に向けて、生活スタイルや価値観に応じた最適な駅・自治体を提案するオンライン診断サービスです。(なんかいくらし公式LINE上で無料で診断できます。)

通勤・アクセス、子育て環境、自然との距離感、生活利便性など、複数の観点から回答内容を分析し、利用者の志向に合った候補地をわかりやすく提示します。

本サービスは、“なんかいくらし”が蓄積してきた地域情報や暮らしの魅力をもとに、移住検討者がエリア選定を進める際の初期段階の負担を軽減し、より具体的な検討へ進めるようサポートすることを目的としています。診断結果から、そのまま周辺施設や地域の詳細情報へアクセスできるため、利用者は効率的にエリア理解を深めることができます。

※詳細はこちら：<https://kosodate.nankai-ensenkachi.com/shindan/>

【南海電鉄の子育て世代の移住・定住促進に向けての取組みについて】

これまで当社では、“住む場所の魅力を知ることが定住意向を高める”と考え、Webメディア・SNS「なんかいくらし」(2024年合計リーチ数1,000万超)にて、子育て情報や沿線イベントなど地域に根ざした情報発信を行ってきました。さらに、「南海電鉄地域発見クリエイターズ課」では、社外公募で集まった26名(2026年2月時点)のクリエイターが、沿線地域に対する自身の体験や実感をもとに、地域の魅力を独自の感性で掘り下げて発信するなど、情報発信の充実に取り組んでまいりました。

2024年度には河内長野市や堺市と共催で、実際の居住者と移住希望者をつなぐ施策「まちの参観日」を6回実施(リアル・オンライン含む)。認知を高めるオンラインイベント(計3回実施)には3,200名超の方が参加し、うち約7割は沿線外(大阪府・和歌山県以外)からご参加いただきました。また、河内長野市で実施したリア

イベントでは、参加者8組のうち4組が移住に至るなど、南大阪・和歌山エリアが移住先としての認知を高めつつあることを実感しています。当社では今後も、沿線が居住地としてのポテンシャルをさらに高めるための取り組みを続けていきます。

【担当者コメント】

南海電気鉄道株式会社 共創事業部 塩見 侑加、豊田 真菜



新しい暮らしの選択肢を考える方はもちろん、沿線にお住まいの方にも「この地域に住む魅力や誇り」を改めて感じていただける一冊となるよう企画しました。沿線での暮らしの光景が少しでも鮮明になり、地域との関わりが深まるきっかけとなれば嬉しいです。

以上